

東商けいきょう集計結果

(中小企業の景況感に関する調査)

平成26年1～3月期

東京の景況は引き続き改善、先行きは消費増税等による悪化を見込む

- 「業況DI」(前年同期比・全業種)は、▲3.5(前回調査比+2.1ポイント)と5期連続で改善した。業種別では、消費増税前の駆け込み需要等により、製造業は0.8と調査開始以来初めてプラスに転じ、建設業、サービス業を合わせて3業種がプラスとなる等、景況感の回復に広がりが出ている。来期の見通しについては、▲10.8(今期比-7.3ポイント)と悪化を見込んでいる。
- 「売上DI」(前年同期比・全業種)は、1.0(前回調査比+0.4ポイント)と改善し、2期連続プラスとなった。業種別では、製造業は5.7(前回調査比+12.2ポイント)とプラスに転じ、小売業は▲13.4(前回調査比+4.2ポイント)と改善した。建設業は8.7と前回調査と比べ-19.9ポイントと大幅に減少したものの、プラス水準を維持した。
- 「採算DI」(今期水準・全業種、「黒字」と回答した企業-「赤字」と回答した企業の割合)は14.6(前回調査比+1.4ポイント)となり、8期連続で黒字超を維持した。
- 「資金繰りDI」(全業種)は、▲7.8(前回調査比+1.7ポイント)。「民間金融機関の貸出姿勢DI」(全業種)は、1.2(前回調査比+0.9ポイント)、今期水準は1.1(前回調査比+0.3ポイント)と改善し、プラスを維持した。

【調査要領】

○調査期間：平成26年2月21日～3月1日

○調査対象：東京23区内の中小企業2,471社

○調査項目：業況、売上、採算(経常利益)、資金繰り、民間金融機関の貸出姿勢

○調査方法：FAXおよび経営指導員による聴き取り

○回答数：1,007社(回答率40.8%)

<業種構成>・製造業247社(24.5%)・建設業115社(11.4%)・卸売業160社(15.9%)・小売業127社(12.6%)・サービス業358社(35.6%)

※ 本集計結果におけるDI値とは、「好転」「良い」「増加」「好調」「黒字」「緩和」「緩い」と回答した企業-「悪化」「悪い」「減少」「不調」「赤字」「厳しい」と回答した企業の割合。

※ 全ての質問について、割合は四捨五入を行っているため、必ずしも合計が100.0%にならない。

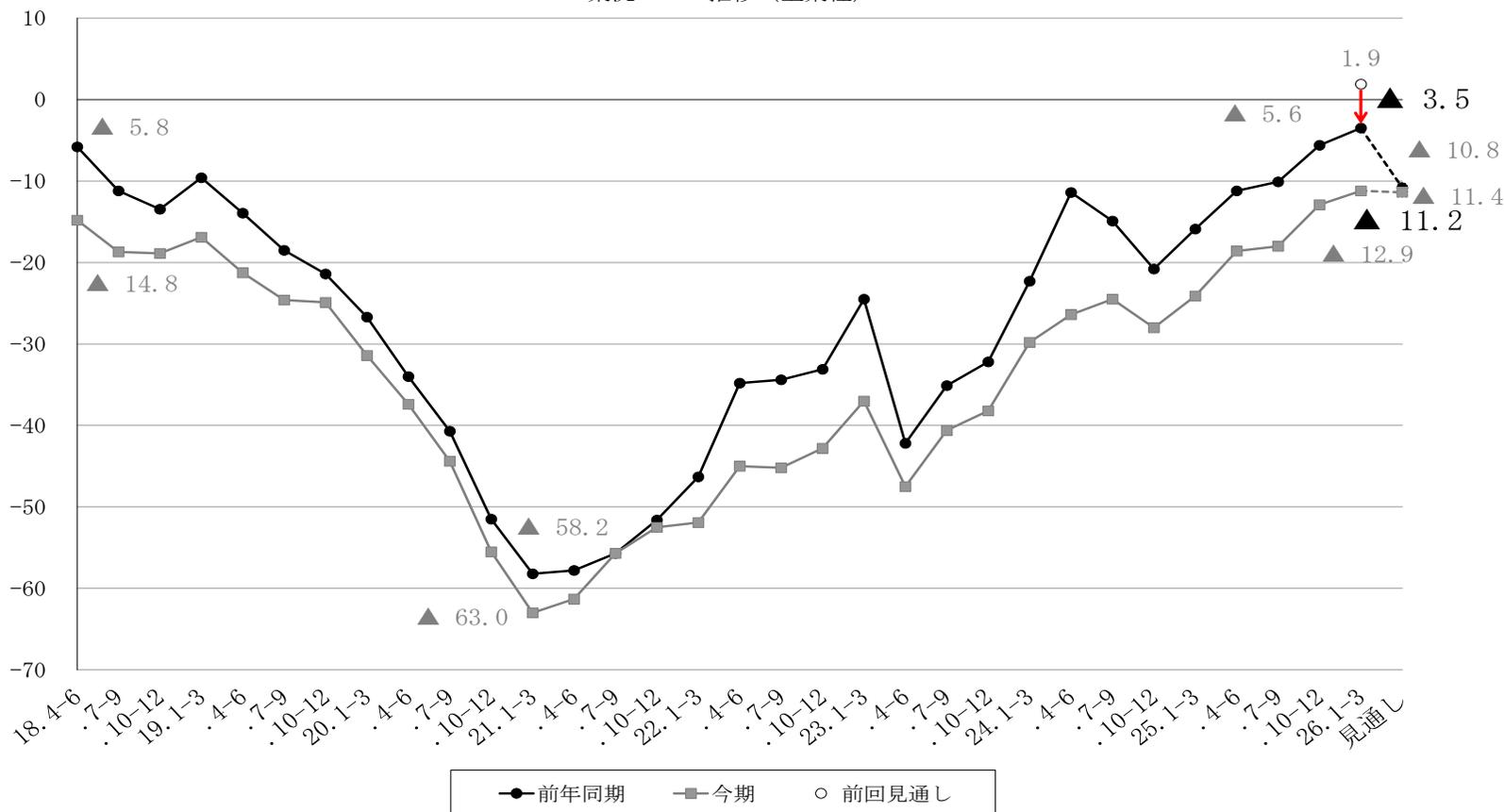
※ 本調査結果の集計にあたっては、独立行政法人中小企業基盤整備機構が実施している「中小企業景況調査」の調査結果を一部活用している。

1. 業況

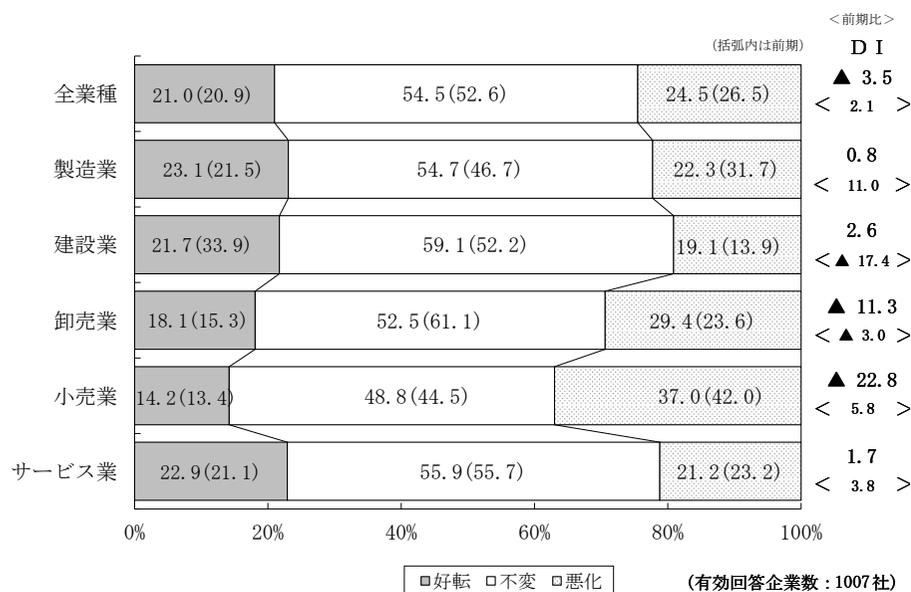
○「業況DI」（前年同期比・全業種）は、▲3.5（前回調査比+2.1ポイント）と5期連続で改善した。業種別では、消費増税前の駆け込み需要等により、製造業は0.8と調査開始以来初めてプラスに転じ、建設業、サービス業を合わせて3業種がプラスとなる等、景況感の回復に広がりが出ている。来期の見通しについては、▲10.8（今期比-7.3ポイント）と悪化を見込んでいる。

【企業の声】高付加価値商品開発に対して企業が積極的な姿勢であり、業況が好転している。（製造業：素材開発、ブランディング）
 消費税引き上げによる前倒し需要もあり、高額商品の販売が好調。（小売業：アクセサリ製造小売・じゅうたん卸小売）
 円安による材料の高騰、人材不足による工賃の高騰で利益率が低下。（建設業：木材、大工工事）

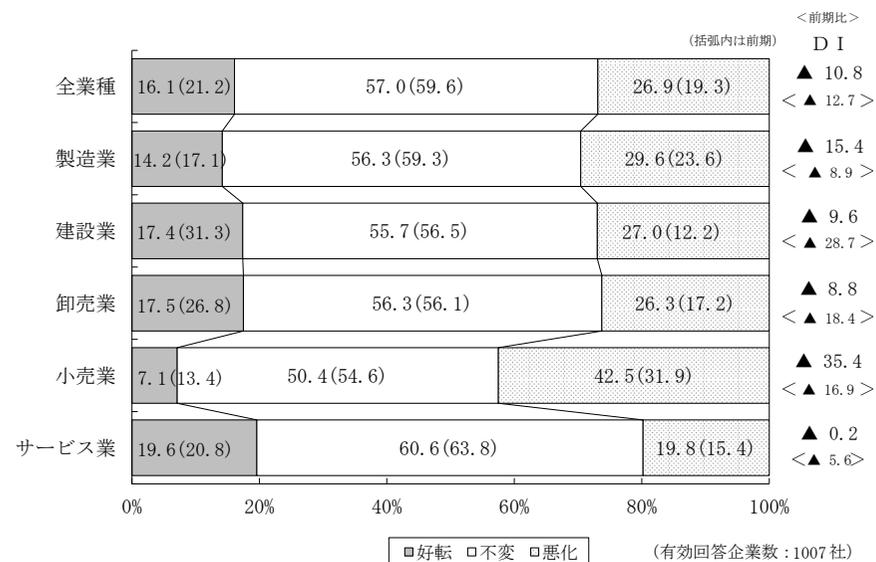
業況DIの推移（全業種）



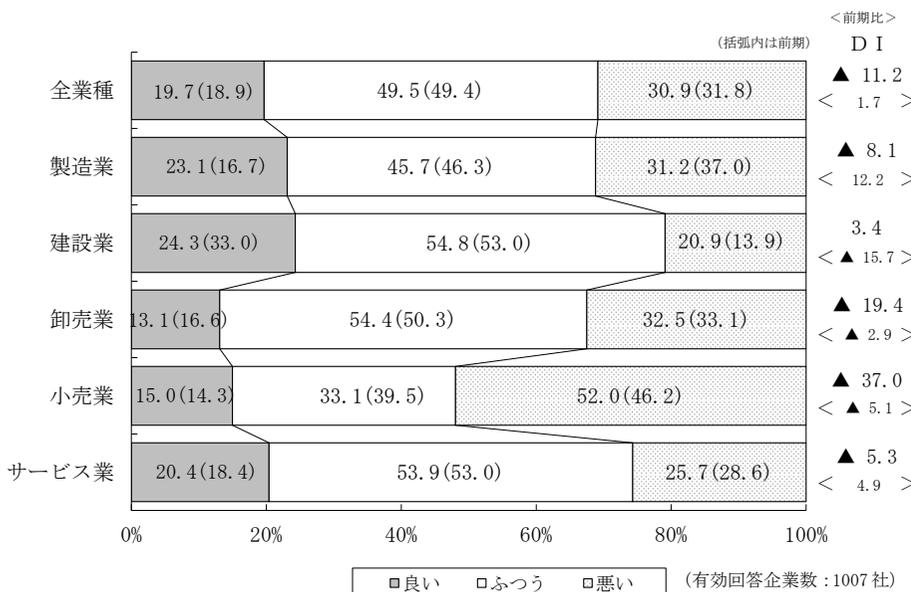
① 今期の業況（前年同期比）



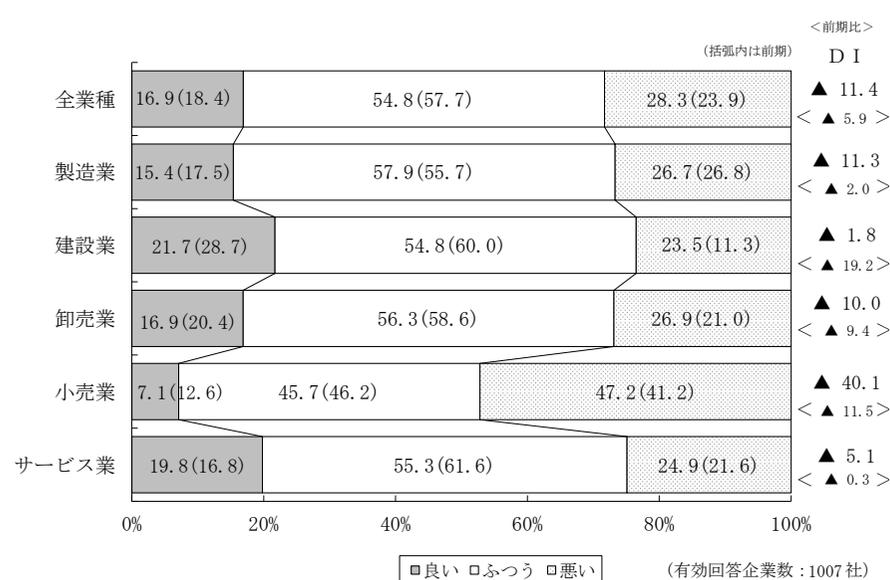
② 来期の業況の見通し（前年同期比）



③ 今期の業況（水準）



④ 来期の業況の見通し（水準）



2. 売上

○「売上D I」（前年同期比・全業種）は、1. 0（前回調査比+0. 4ポイント）と改善し、2期連続プラスとなった。業種別では、製造業は5. 7（前回調査比+12. 2ポイント）とプラスに転じ、小売業は▲13. 4（前回調査比+4. 2ポイント）と改善した。建設業は8. 7と前回調査と比べ-19. 9ポイントと大幅に減少したものの、プラス水準を維持した。

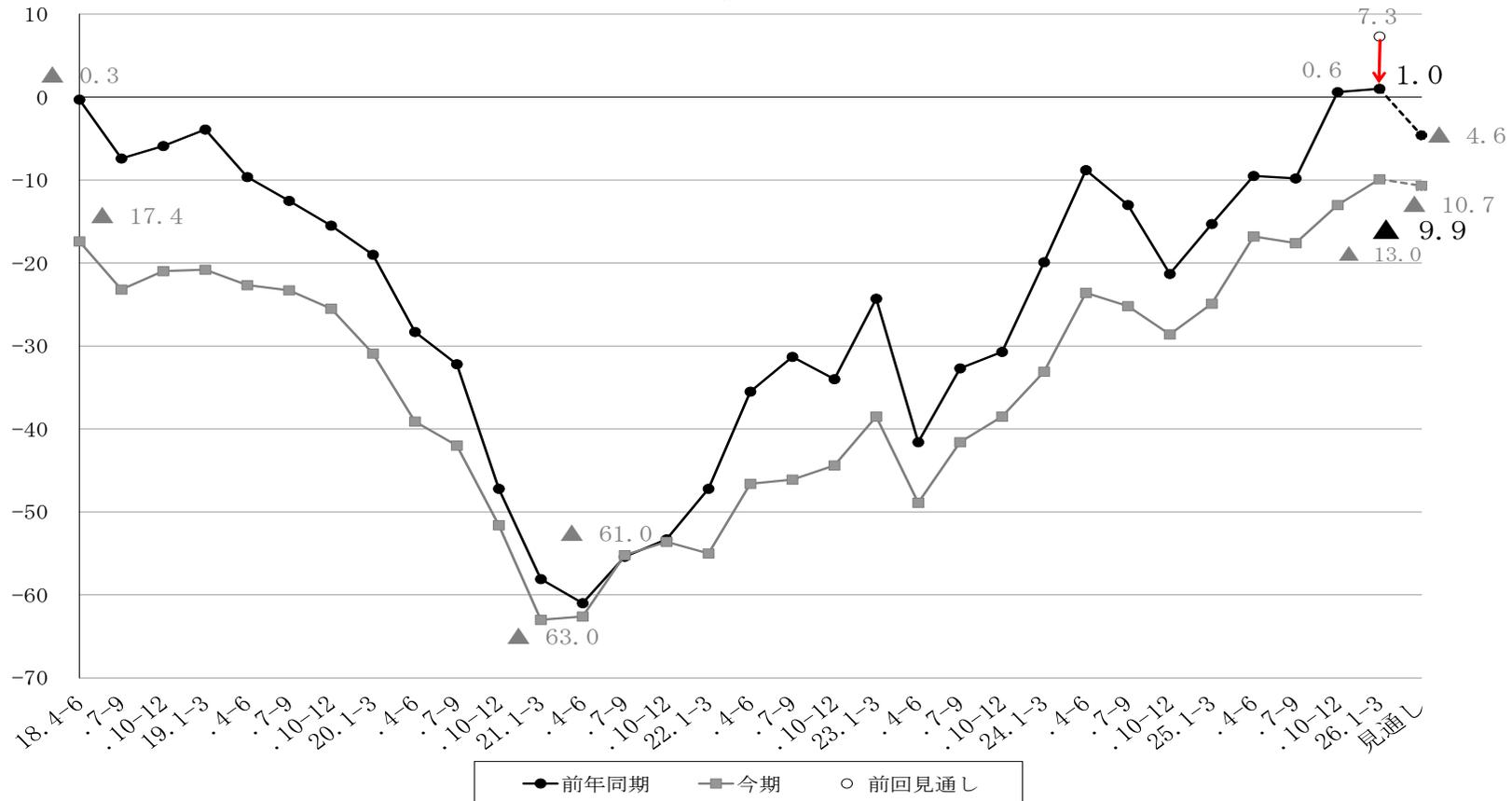
【企業の声】取引先の国内製造装置メーカーの輸出増加に伴い、受注が増加した。自社の輸出も増加している。（製造業：ターンテーブル）

年度末受注と増税前受注の効果があいまって好調である。（小売業：インテリア雑貨）

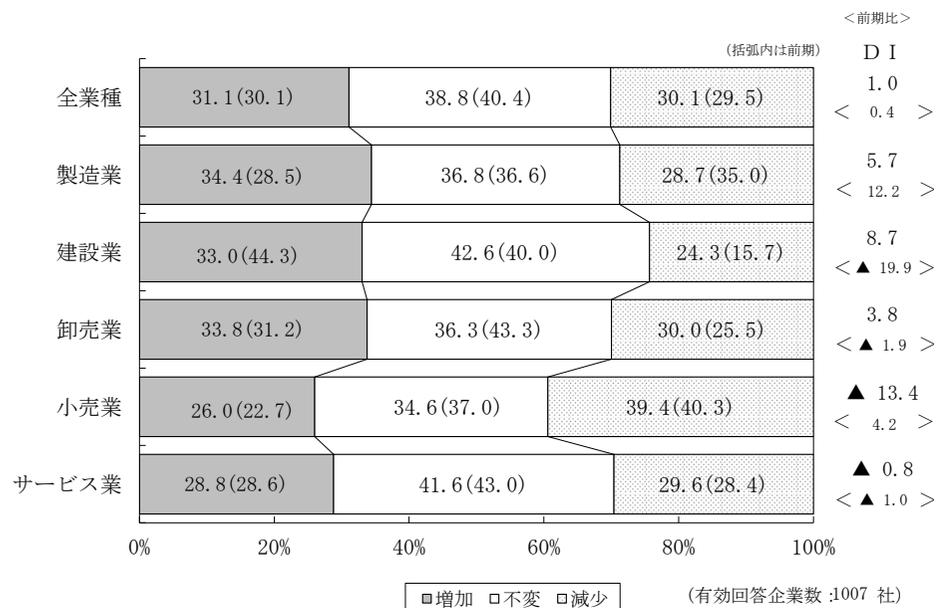
2月に2回降雪があり、週末の販売予測に対し大きくマイナスとなった。（小売業：自転車）

労務費上昇により納期を守る事が難しく、受注も調整せざるを得ない。4月以降は消費税アップによる冷え込みが懸念される。（建設業）

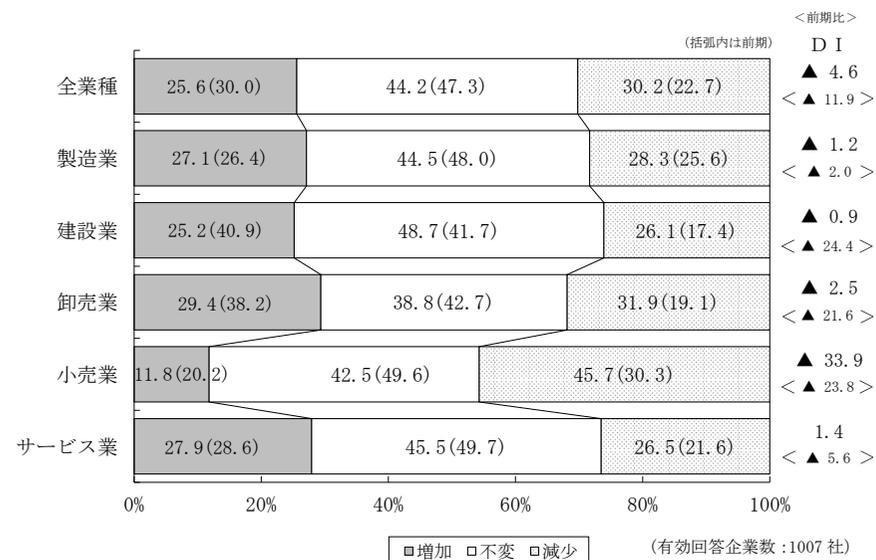
売上D I の推移（全業種）



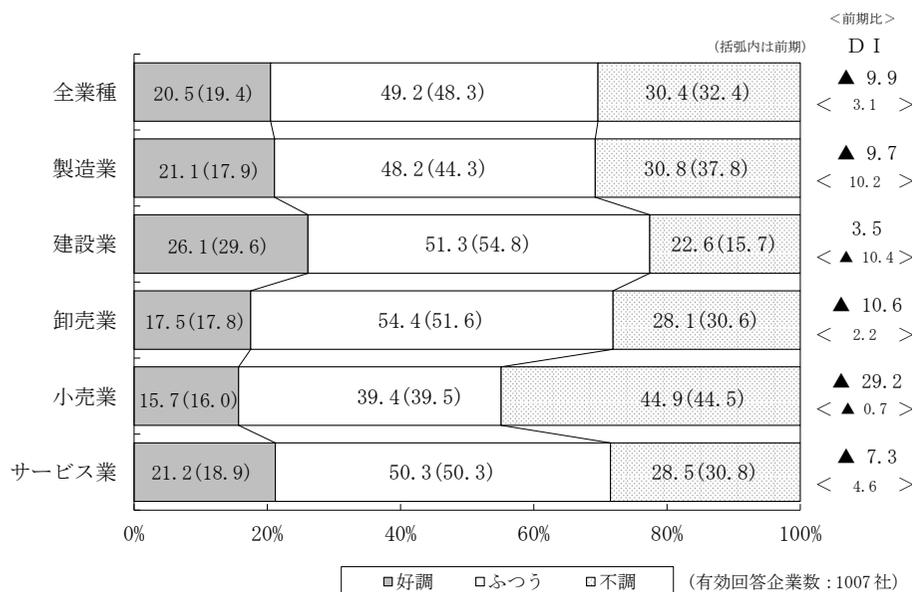
①今期の売上（前年同期比）



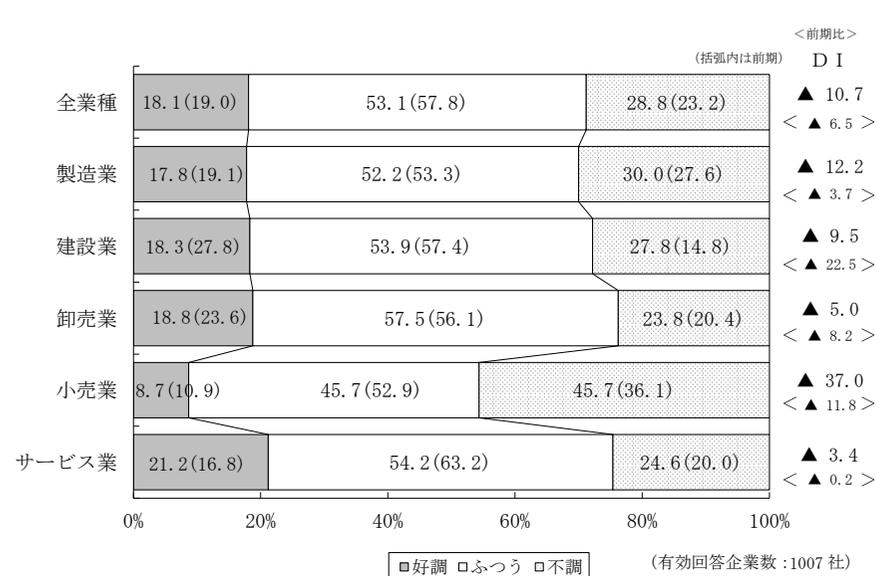
②来期の売上の見通し（前年同期比）



③今期の売上（水準）



④来期の売上の見通し（水準）



3. 採算（経常利益）

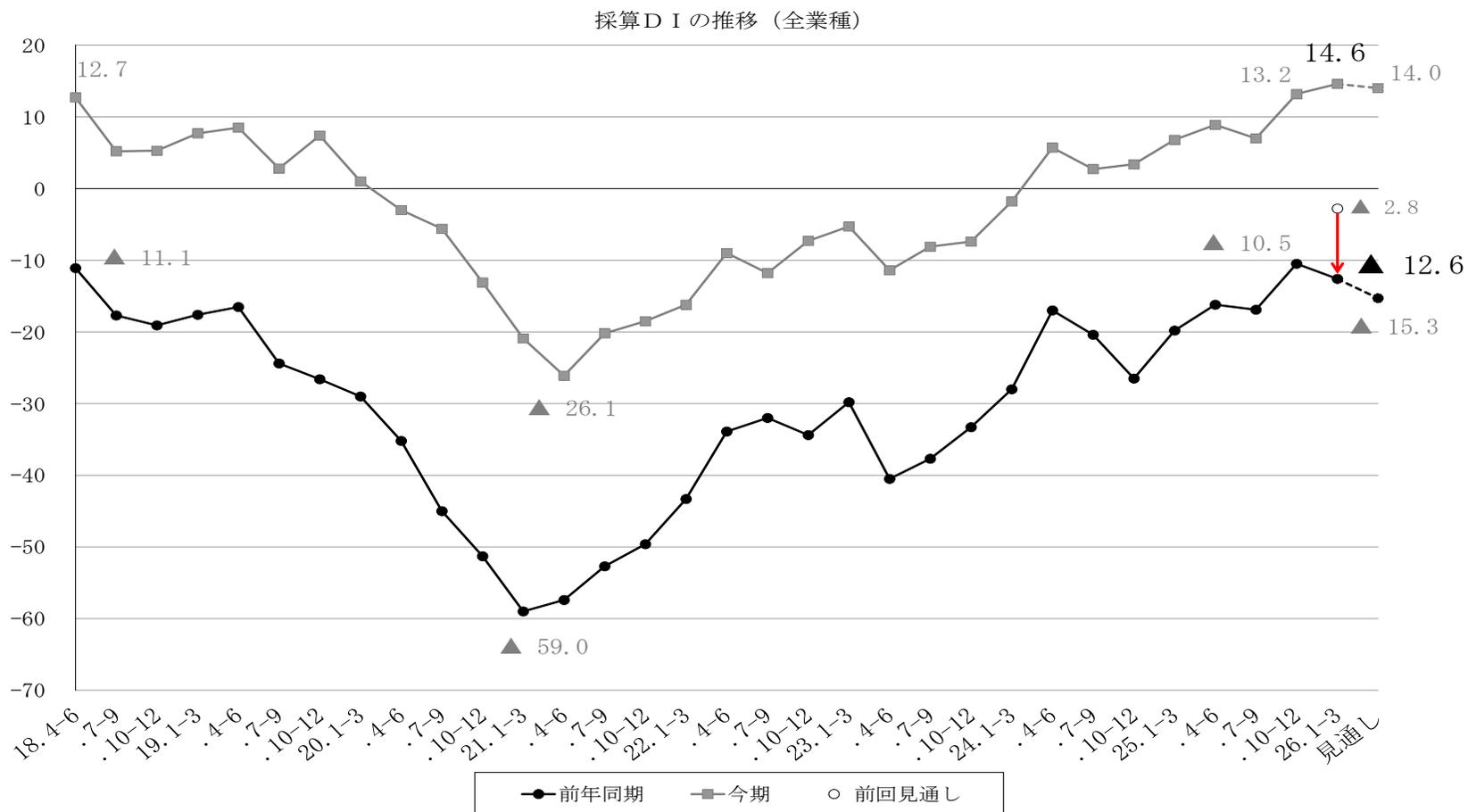
○「採算DI」（今期水準・全業種、「黒字」と回答した企業－「赤字」と回答した企業の割合）は14.6（前回調査比＋1.4ポイント）となり、8期連続で黒字超を維持した。

【企業の声】顧客の拡大、新部門の増設、営業部門の強化により採算が取れている。（製造業：製本）

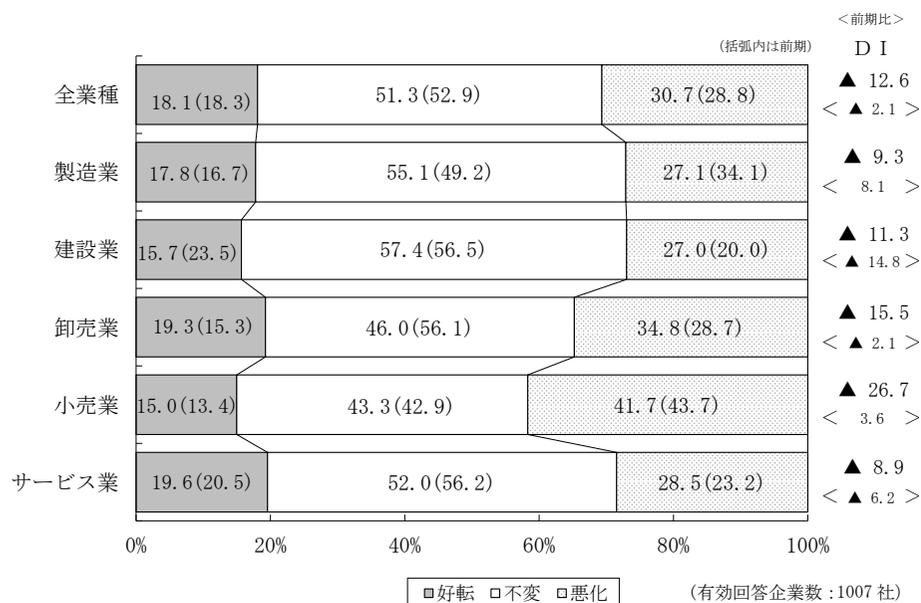
新商品開発、資金繰りの余裕化と新規顧客開拓を実施しており、利益は十分確保できている。（小売業：宝飾品）

大手企業の参入による競争が激化しており、急激な円安に伴う原材料等の高騰を製品卸値に転嫁できない。（卸売業：サプリメント）

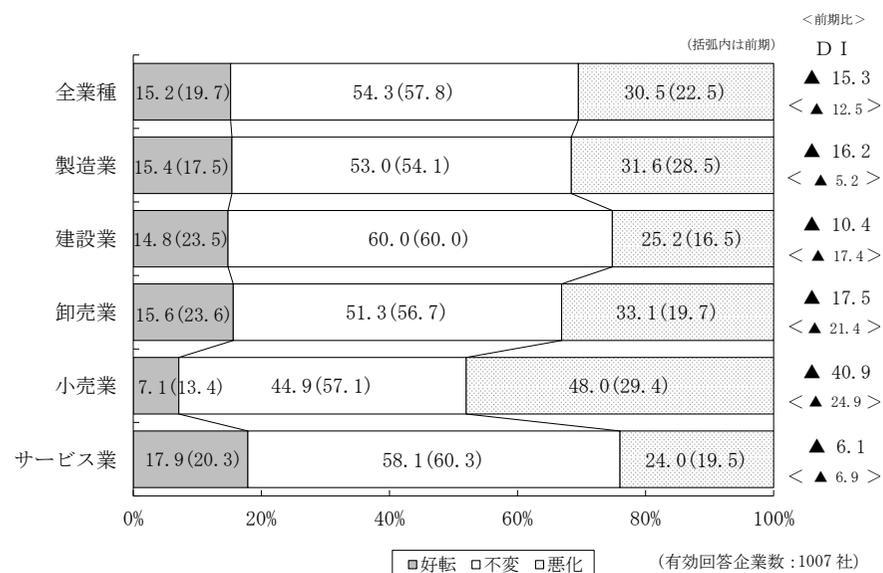
仕事量は多いが、燃料高により採算が好ましくない。（サービス業：運送）



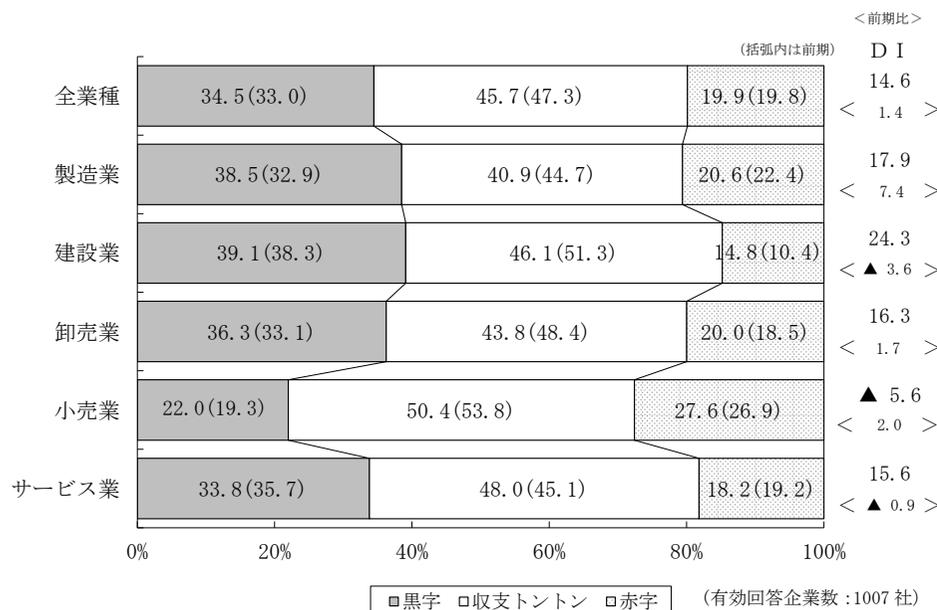
①今期の採算（前年同期比）



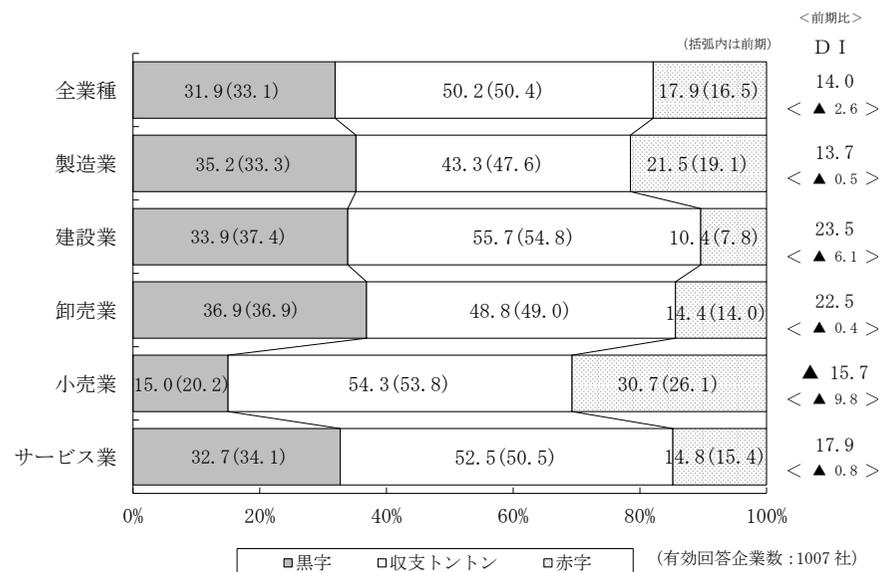
②来期の採算の見通し（前年同期比）



③今期の採算（水準）



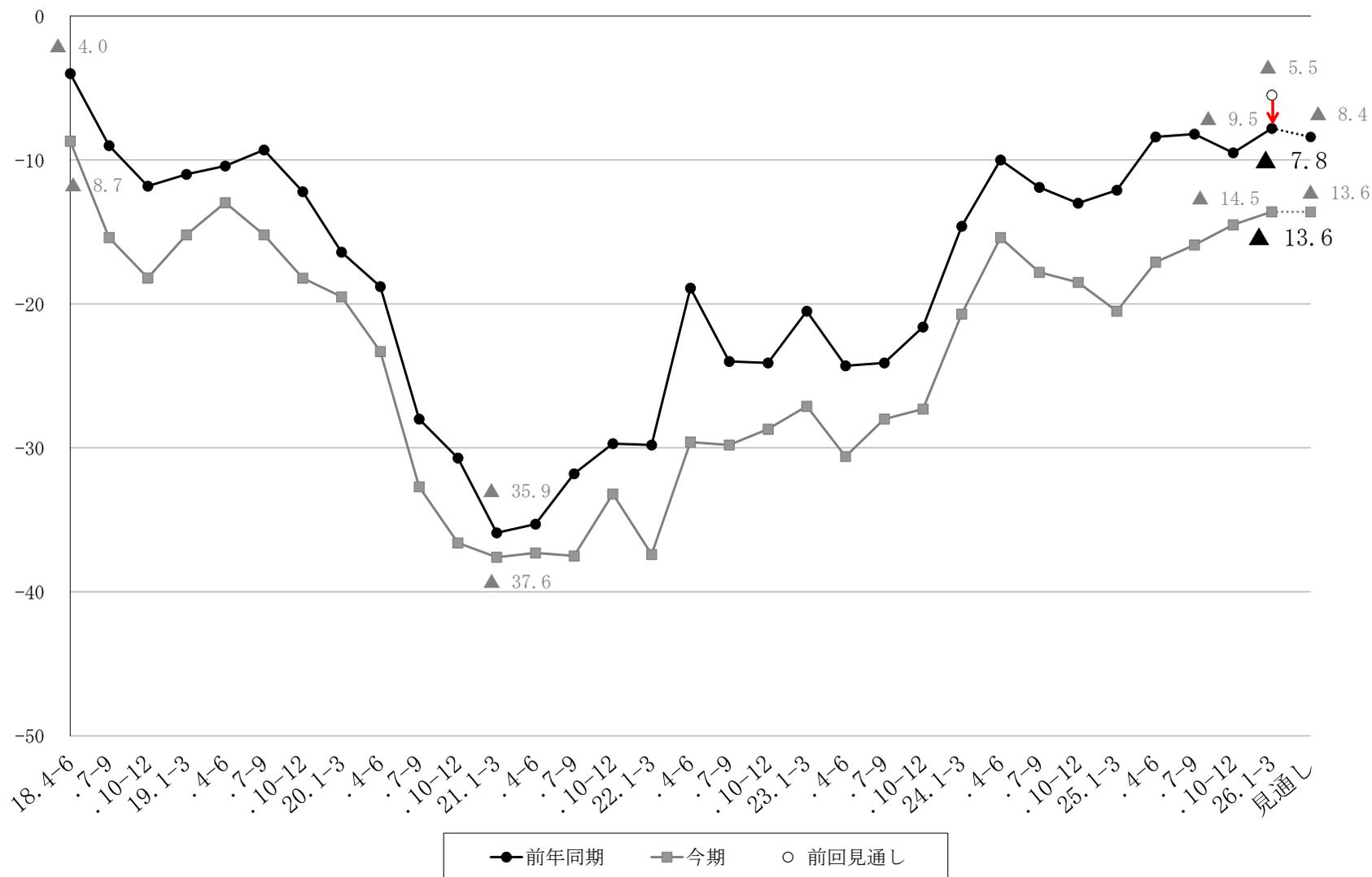
④来期の採算の見通し（水準）



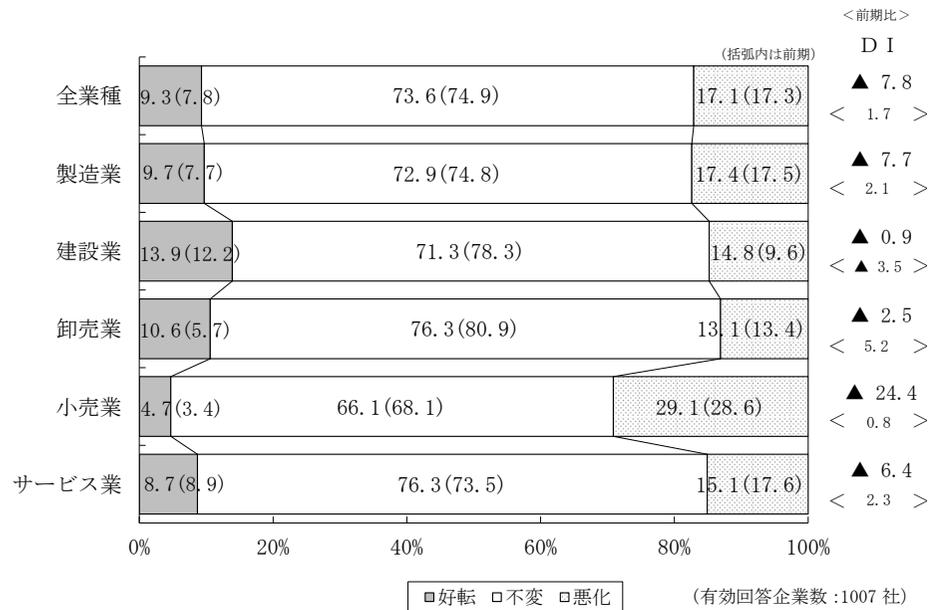
4. 資金繰り

○「資金繰りDI」(全業種)は、▲7.8(前回調査比+1.7ポイント)となった。

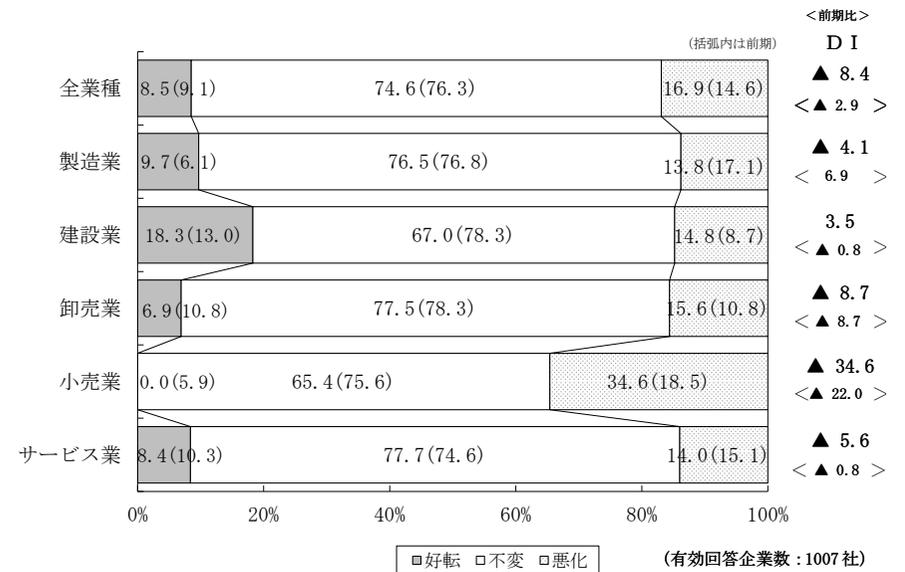
資金繰りDIの推移(全業種)



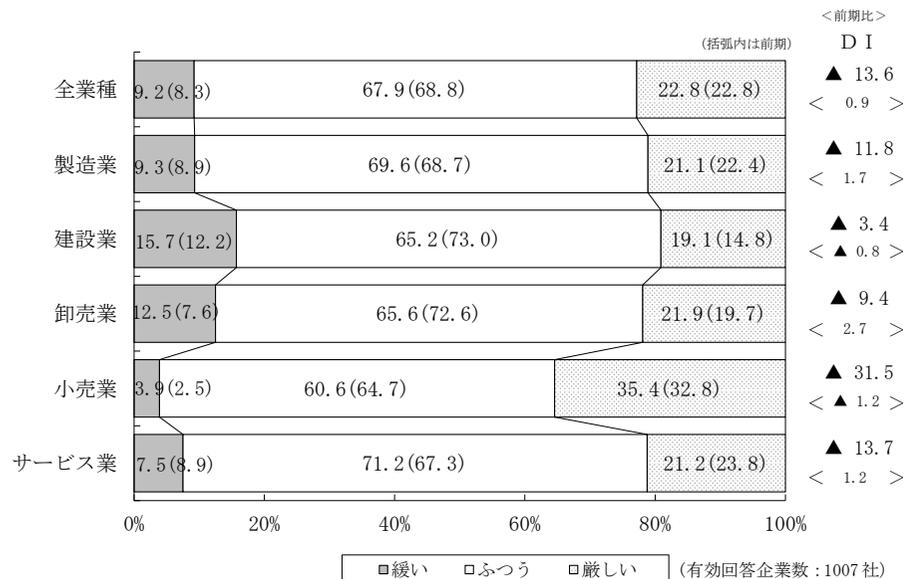
①今期の資金繰り（前年同期比）



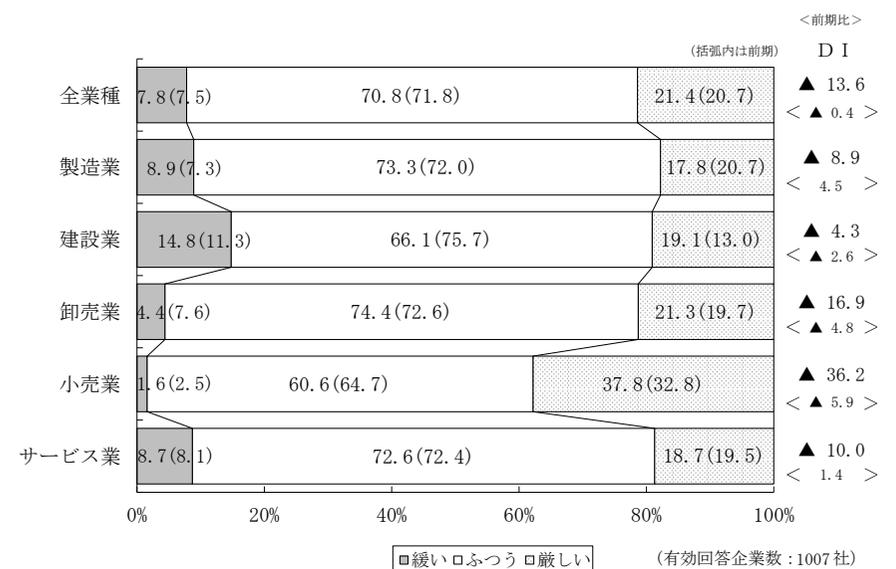
②来期の資金繰りの見通し（前年同期比）



③今期の資金繰り（水準）



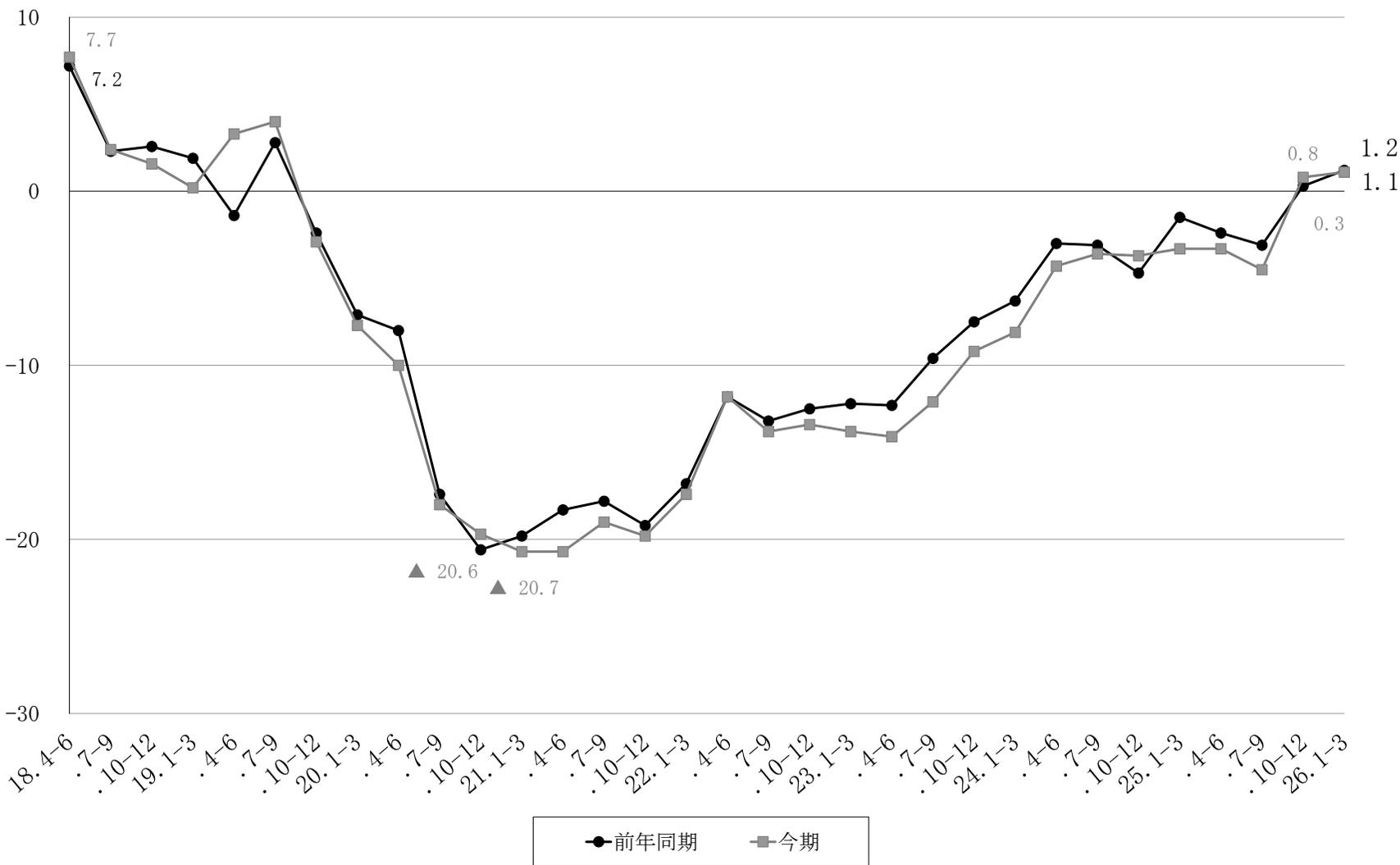
④来期の資金繰りの見通し（水準）



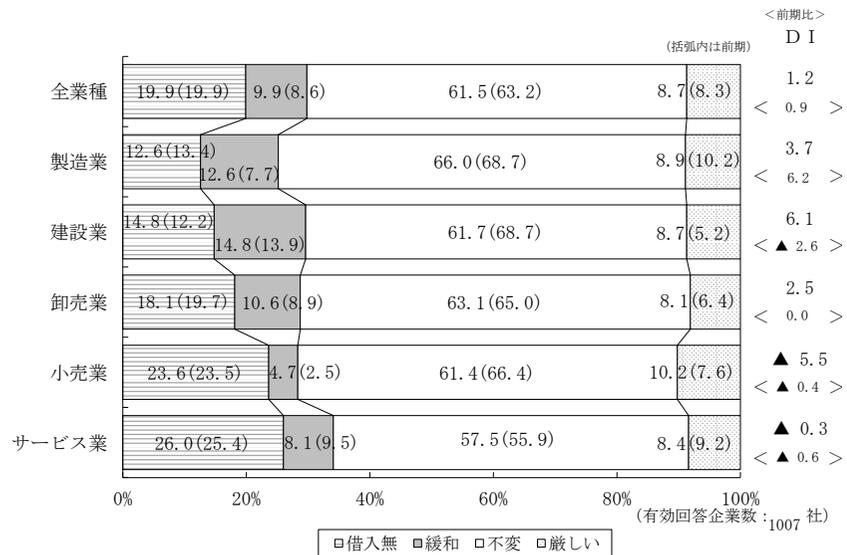
5. 民間金融機関の貸出姿勢

○「民間金融機関の貸出姿勢D I」（全業種）は、+1.2（前回調査比+0.9ポイント）、今期水準は+1.1（前回調査比+0.3ポイント）と改善し、プラスを維持した。

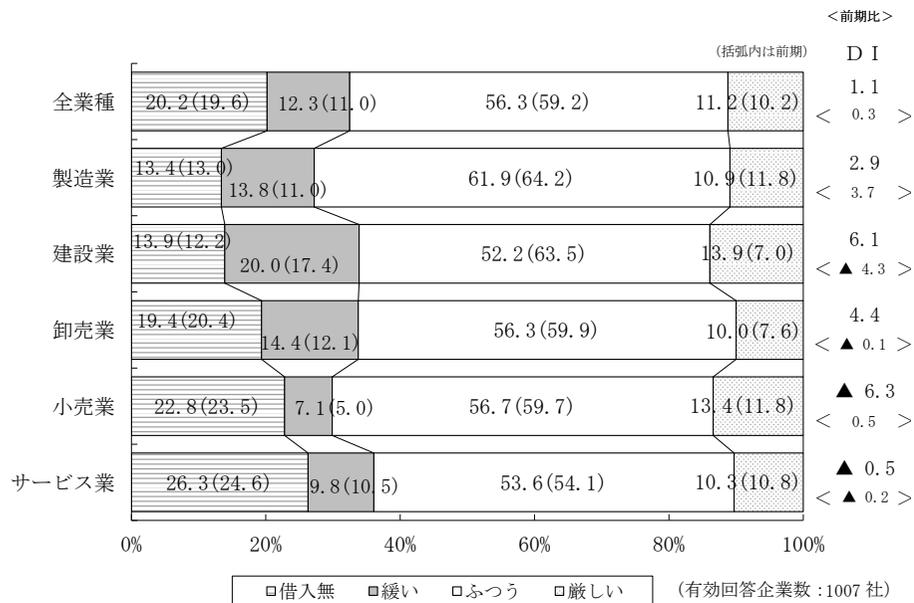
貸出姿勢D Iの推移（全業種）



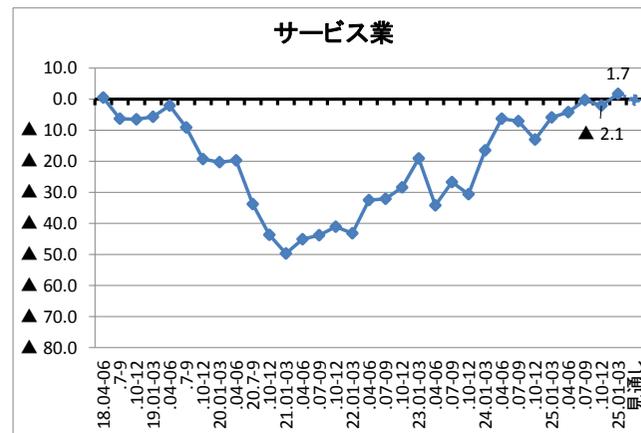
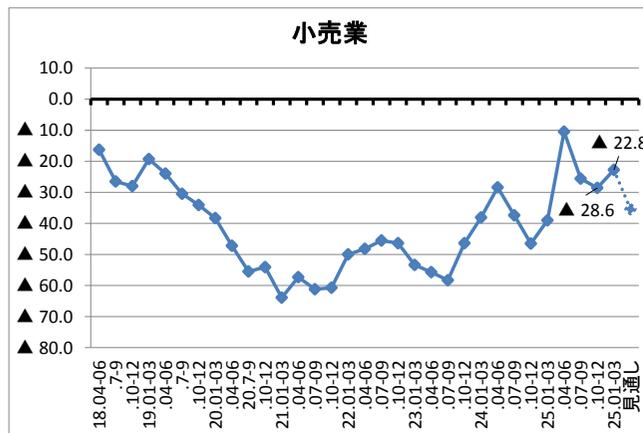
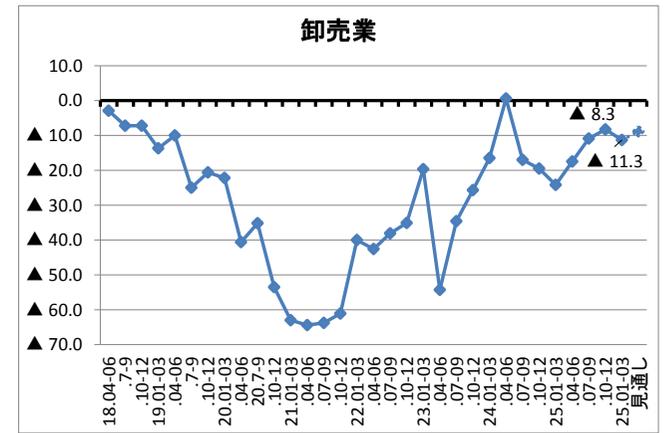
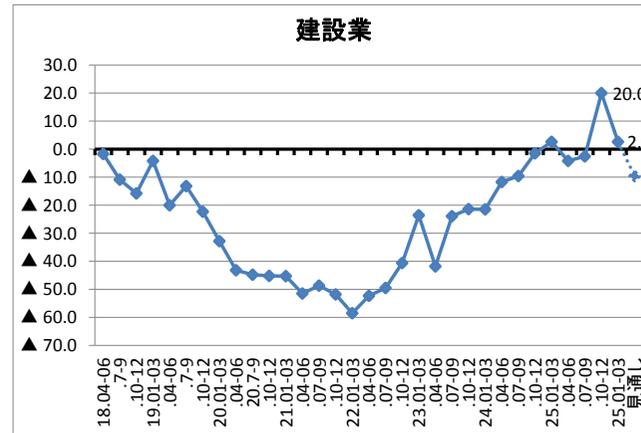
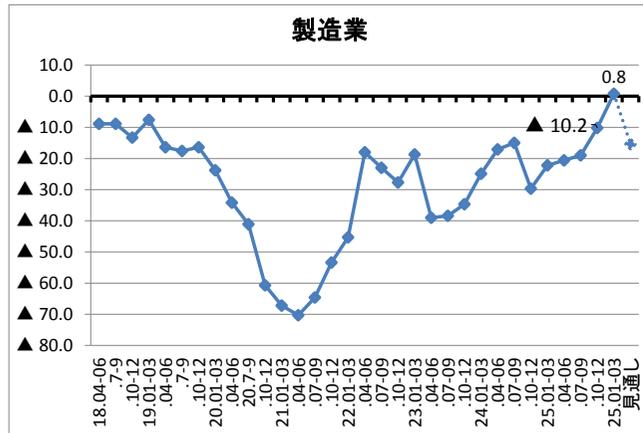
①民間金融機関の貸出姿勢（前年同期比）



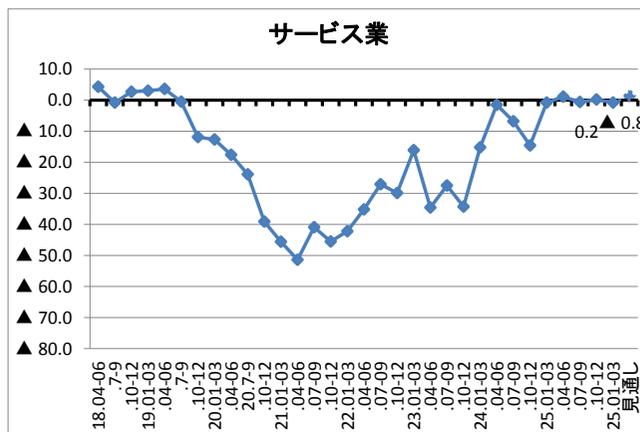
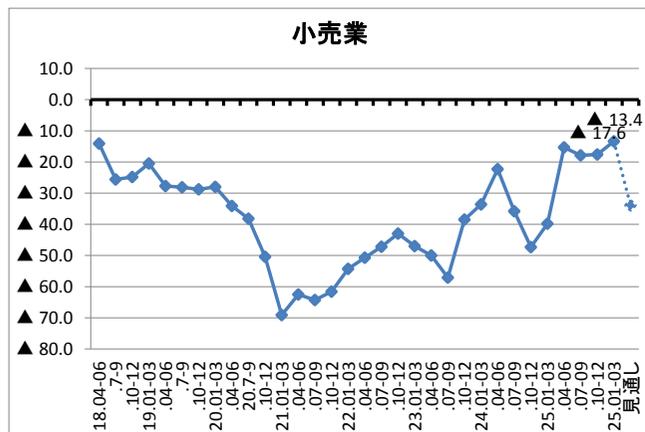
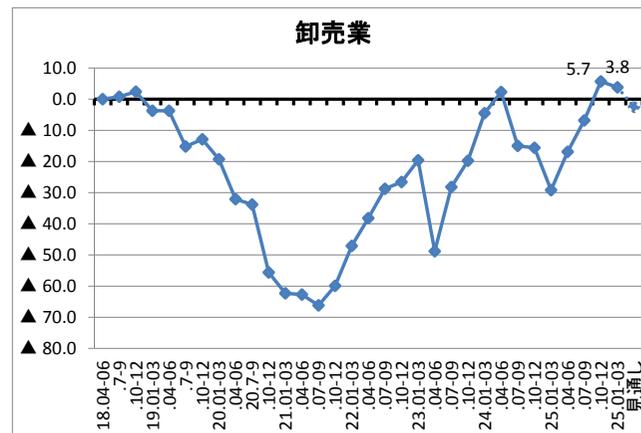
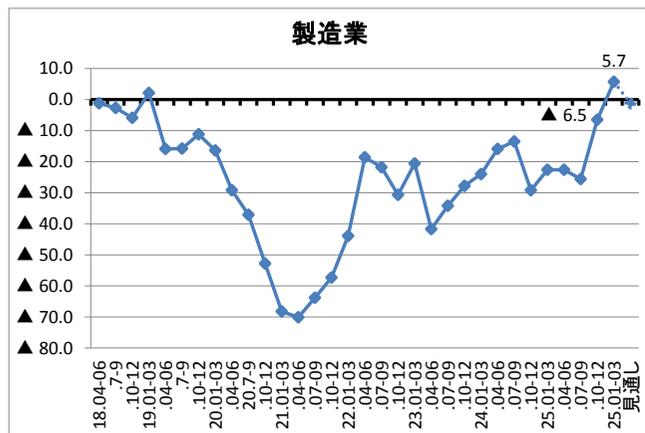
②民間金融機関の貸出姿勢（今期水準）



参考1 <業況DI 業種別・前年同期比>



参考2 <売上DI 業種別・前年同期比>



参考3 <採算D I 業種別・今期水準>

